

は　じ　め　に

近年の社会経済の発展及び技術革新は目覚ましく国民の生活は、著しく向上しているものの、健康保持、増進にかかわる重要な問題も多く提起されている。

これらの諸問題については、行政上諸施策が講じられているが、当所においても関係部局と連携を保ちながら試験検査、調査研究を行ってきた。

特に、昭和50年以来、全国の地方自治体に先駆けて新生児・乳児に対する先天性代謝異常のマス・スクリーニングを実施し、クレチン症、TBG欠損症、神経芽細胞腫、先天性副腎皮質過形成を逐次取り上げ、更に昭和61年度から新たに妊婦甲状腺機能異常マス・スクリーニングに取り組み母子保健の向上に努めている。

また、冬期間積雪寒冷地において、課題となっているスパイクタイヤに起因する道路粉じんについては、諸対策が進められているが、当所としても問題解決のため調査研究に積極的に取り組んでいる。

地方衛生研究所は、国の感染症サーベイランス事業の拡大に伴う情報の全国ネットワーク化の中で、情報の提供・解析等に新たな役割が求められている。

長年の念願であった新庁舎建設は、いよいよ昭和62年度から着工の予定であり、衛生研究所の機能が充分発揮されるよう配慮しながら、時代の進展に伴い高度化、多様化する住民のニーズ及び行政需要に対応する検査・研究体制を充実したい。

最後に、皆様方の一層のご鞭撻とご指導をお願い申し上げるとともに、この冊子がいささかなりとも関係者各位の方々に役立つことがあれば望外のよるこびであります。

昭和62年2月10日

札幌市衛生研究所長

高　杉　信　男